

きんぎよ草

	ごまの葉草科の一年草。ヨーロッパ原産。
播種時期	3月から5月
発芽適温	20度くらい。 種を蒔いた後、覆土はしない。 新聞紙等で覆い、日陰で乾燥させないように管理する。
発芽後の管理	本葉が2~4枚になったときに4cm間隔に植え広げるか、ポットに植え替える。 定植は3月中~下旬であるが、9~10月に定植しても寒さで傷むことはさほどない。
その後の管理	肥料切れしないよう、元肥として緩効性化成肥料を与える。 油粕などの窒素肥料を与えると花付きが悪くなるので注意。 春と秋は、月に1~2回程度、草花用の液肥を与えるとよい。
病害虫	アブラムシがつきやすいので、見つけたら早めに駆除する。 スカウト乳剤・アフテリック乳剤を使用するのもよい。 菌核病もまれに発生するので、発生時はトップジンMを使用する。
水やり	基本的に乾燥気味に育成する。表土が乾いてきたらたっぷり水やりをする。 金魚の名がついているが過湿が苦手である。水はあげる時にしっかりあげ、「少しづつ毎日」というのは厳禁。 いつも土が湿っていると、根から吸収できなくなり「根腐れ」してしまう。